

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト(NBRP)

研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業

「研究用ヒト臍帯血の利用状況に関する調査」

ご協力をお願い

日頃は文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト National Bioresource Project(NBRP)「研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業」にご高配を賜り、有難うございます。

文部科学省 NBRP の中核拠点プログラム課題の一つ「研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業」(以下、本事業)は、東京大学医科学研究所附属病院 細胞リソースセンターにて臍帯血を収集し、研究用に調製・凍結保存し、理化学研究所バイオリソース研究センターを通じて、「生命科学・医学の発展」を目指した研究を進めている国内(企業を含む)の研究者に提供することを目的としています。この度、文部科学省及び本事業の実施機関である東京大学医科学研究所及び理化学研究所バイオリソース研究センターは本事業の一環として「研究用ヒト臍帯血の利用状況に関する調査」を企画致しました。

この調査は、研究コミュニティにおける臍帯血細胞のニーズ把握を目的として実施するものです。具体的には回答者の属性、臍帯血の利用状況、利用目的、入手方法、研究用臍帯血試料の種類や研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業全般への要望などをお尋ねします。調査結果は「研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業」における研究用臍帯血の利用拡大及び質の向上のために活用させていただきます。

調査結果は今後の研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業の展開を検討するための基礎資料として活用させていただきます。その際、個別の回答内容を公開することは致しませんので、ご回答により皆様にご迷惑をおかけすることはございません。

なお、研究コミュニティの中で出来るだけ多くの皆様からご協力をいただきたく、多くの学会にご協力をお願いしております。複数の学会に加入なされている方には、各々の学会から調査へのご協力をお願いする電子メールが複数届きます。どの学会からのメールでも構いません。この Google form は調査終了まで修正は可能ですが重複を避けるため、お一人一回のご回答をお願いします。

ご不明な点は、NBRP 研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業 事務局まで (crc-bank@ims.u-tokyo.ac.jp)までお問い合わせください。調査は3月10日(金)までの実施を予定しております。ご多忙の折に誠に恐縮ながら、調査にご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年1月23日

文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト
研究用ヒト臍帯血バイオリソース事業代表

東京大学医科学研究所附属病院 細胞リソースセンター 長村登紀子
分担 理化学研究所バイオリソース研究センター 中村 幸夫

【調査への協力予定されている学会】（順不同）

和漢医薬学会、日本アレルギー学会、日本人類学会、日本人類遺伝学会、日本公衆衛生学会、日本医療薬学会、日本医真菌学会、日本卵子学会、日本国際医療保健学会、日本感染症学会、日本東洋医学会、日本毒性学会、日本熱帯医学会、日本生物物理学会、日本生理人類学会、日本生理学会、日本生薬学会、日本疫学会、日本発生生物学会、日本細胞生物学会、日本進化学会、日本霊長類学会、比較統合医療学会、染色体学会、日本遺伝学会、日本動物学会、日本実験動物学会、日本獣医師会、日本生化学会、日本生物工学会、日本薬剤学会、日本薬学会、日本薬理学会、日本感染症医薬品協会、腸内細菌学会
国際東洋医学会・日本支部、日本RNA学会、日本アミノ酸学会、日本ウイルス学会、日本エイズ学会、日本ワクチン学会、日本免疫毒性学会、日本哺乳類学会、日本小児感染学会、日本毒性病理学会、日本比較内分泌学会、日本獣医学会、日本生体防御学会、日本生物高分子学会、日本神経感染症学会、日本糖質学会、日本組織培養学会、日本組織細胞化学会、日本臨床ウイルス学会、日本免疫学会、日本分子生物学会、獣医疫学会、生物の起源および進化学会、硬組織再生生物学会、臨床熱帯感染症研究会、日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本遺伝子細胞治療学会、日本再生医療学会、日本輸血・細胞治療学会、日本炎症・再生医学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本寄生虫学会、日本産婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本臨床免疫学会、その他、理化学研究所バイオリソースセンター利用者の方々